

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。 問合せ 農林水産課



②9 三重県亀山市

▶平成29年7月12日、櫻井義之 亀山市長（左）と協定を締結



亀山市の特産品



- 面積：191.04km²
- 人口：49,704人・21,272世帯（平成30年7月1日現在）
- 市の花：花しょうぶ ●市の木：杉

亀山市は三重県北中部に位置し、市の北西部には鈴鹿山脈が、南西部には布引山地が連なり、市の面積の半部以上は山林で占められています。昭和29年までは亀山町をはじめ2町8村から構成され、「昭和の合併」を経て、平成17年1月11日に旧関町と旧亀山市が新設合併し、現在の亀山市となりました。

亀山市はお茶の栽培が盛んで、昭和58年に茶の大規模生産拠点として「中の山パイロット茶園」約89haが整備されています。また、地場産業としては、ローソクが有名です。紅茶のべにほまれ、にんにく、自然薯、棚田米など地域の特産品の発掘等事業により補助金による支援を行い、平成24年には「べにほまれ復活プロジェクト」に取り組み、そのブランド化、6次産業化を進められています。また、「亀山みそ焼きうどん」や「亀山ラーメン」などのB級ご当地グルメにも取り組まれています。

亀山市は、歴史や文化、産業などの地域資源にも磨きをかけ、市民の幸福実感が向上するまち、そして「小さくともキラリと輝くまち亀山」を目指してまちづくりに取り組まれています。



- 面積：195.4km²
- 人口：49,143人・18,166世帯（平成30年7月1日現在）
- 市の花：つつじ ●市の木：クスノキ

武雄市は佐賀県の西部に位置する温泉都市で、平成18年3月1日に旧武雄市、山内町、北方町の1市2町が合併して誕生しました。

武雄温泉は、1,300年も前から知られた古湯で、温泉の入り口に立つ朱塗りの楼門は、平成17年に国の重要文化財に指定されています。

特産品は、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星」の昼食に提供され高評価を得ているお米「さがびより」や武雄のブランド豚「若楠ポーク」が有名です。

平成19年に「収益性の高い、やりがいのある農業の確立」を目指し、地元農家に協力を呼びかけ遊休農地等を利用し、レモングラスの栽培に取り組み、武雄市の新しい特産品として全国的にも知られるようになり、平成25年にはパクチーの栽培も行われています。また、鳥獣食肉加工処理施設「やまंकじら」で捕獲したイノシシを食肉加工し、カレーなどの加工品も製造されています。

武雄市は、「いで湯と陶芸のふるさと元気な、ぬくもりがある、人かがやく、ユニバーサルデザインのまち」を目指してまちづくりに取り組まれています。



③0 佐賀県武雄市

▶平成29年7月13日、小松 政 武雄市長（右）と協定を締結



武雄市の特産品

